

令和元年度 第2回新見市子ども・子育て会議 会議録（要旨）

開催日時	令和元年11月19日（火）10:00～11:35
開催場所	新見市役所南庁舎1階 会議室1C
出席した委員 (10名)	<p>会 長 新見公立大学健康科学部健康保育学科長 副会長 新見市主任児童委員連絡部会会長 委 員 新見市議会文教福祉常任委員会委員長 委 員 新見市幼稚園・こども園教育研究会代表 委 員 新見市保育協議会会長 委 員 放課後児童クラブ代表 委 員 新見市幼児クラブ交流事業実行委員会委員長 委 員 阿哲商工会会長 委 員 新見市教育委員会教育部長 委 員 新見市福祉部長</p>
欠席した委員 (3名)	<p>委 員 新見市小学校長会副会長 委 員 新見市幼稚園PTA連合会会長 委 員 新見商工会議所専務理事</p>
事務局 (8名)	<p>福祉部次長 福祉部健康づくり課長 福祉部こども課長 こども課主幹 こども課主査 教育部学校教育課参事 (株)ぎょうせい 2名</p>

議事内容（要旨）	
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・ 9月集中豪雨災害に関する報告とお礼 ・ 会議成立の確認 ■ 1 開会 ・ 初出席委員の紹介 ■ 2 会長あいさつ ・ 会長挨拶 ・ 新見市の子育て支援事業の一層の充実のためにも忌憚のないご意見をお願いします。
会長（進行）	<ul style="list-style-type: none"> ■ 3 議事 ■ 議事① 第2期子ども・子育て支援事業計画の策定について ・ 議事①について、事務局は説明をお願いします。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・ 第2期事業計画の概要及び施策体系について説明
会長（進行）	<ul style="list-style-type: none"> ・ 質疑はありませんか。→なし ・ 続いて、事務局は第2期事業計画の素案について説明をお願いします。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・ 第2期事業計画の素案の第1章から第3章まで説明
会長（進行）	<ul style="list-style-type: none"> ・ 質疑はありませんか。
副会長	<ul style="list-style-type: none"> ・ いくつかお尋ねしたいことがあります。 ・ 素案 P17 の6 子育て短期支援事業（ショートステイ）を見ると、利用者が少ないですが、どのように周知をしているのでしょうか。また、何歳までの子どもを預かっているのでしょうか。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・ ショートステイは、たんぽぽ保育園で実施している宿泊を伴う一時預かり事業のことです。周知は園作成のチラシで行っています。以前は子育てガイドブックにも掲載していましたが、現在は掲載していません。（利用は、原則就学前までの児童。） ・ ここ数年は利用がありませんでした。
副会長	<ul style="list-style-type: none"> ・ 他の園の保護者もこの事業を知っているのでしょうか。
委員	<ul style="list-style-type: none"> ・ たんぽぽ保育園では病児保育も実施しており、毎年、園にパンフレット等をもって保護者に配布しています。ショートステイは利用されていないように思います。
副会長	<ul style="list-style-type: none"> ・ 続いて、同 P21 の基本施策1の今後の主な取組の方向性に「乳幼児健診の受診率向上」とありますが、どのような理由で受診しないのでしょうか。また、受診しない人は、日を改めて受診をするのでしょうか。 ・ もう一つ、「岡山県不妊専門相談センターや、不妊・不育治療の支援制度の

	<p>周知」についてですが、素案では、婚姻時に不妊に関する相談等のパンフレットを送っているとあります。そのパンフレットで市に何件くらい相談があるのでしょうか。</p> <p>・また、最近不妊に悩む夫婦が増えています。不妊治療は、肉体的にも精神的にも経済的にも負担が大きく、経済面等での支援を求める声を聞いたことがあります。新見市の子どもが将来、一人でも多く増えることを願っていますが、市の施策として、現在どのような支援をしているのか教えてください。</p>
事務局	<p>・乳幼児健診を受診しなかった人には、次回の健診日時を案内しています。受診しない理由として、長期入院中など子どもの体調が悪いため健診のタイミングを逃したというのがあります。次回、またその次の回を案内することで受診できていると思います。</p> <p>・岡山県不妊専門相談センターや不妊・不育治療の支援制度の周知については、婚姻届出時にパンフレットを渡して周知を図っています。まず岡山県の不妊治療の助成を優先してもらい、県の助成金額を差し引いたものに対して新見市が助成をしています。県は助成回数の制限がありますが、市は回数制限なしに不妊治療の助成をしています。その点では、新見市は手厚く助成していると考えています。</p>
委員	<p>・乳幼児健診の受診率向上について補足になりますが、健康づくり課から保育所等に日程表を送ってもらっており、園でも日程を把握しています。健診の少し前や当日に園からも保護者に声掛けをするなどして連携を取り合っています。</p>
会長（進行）	<p>・実態が詳細に分かりました。</p> <p>・先程、認定こども園で短時間保育（4時間の保育（幼児教育））が減少して、長時間保育（8時間または11時間の保育）の利用が増加している傾向があると事務局から説明がありました。これについて、上市認定こども園長（委員）はいかがでしょうか。</p>
委員	<p>・たしかに母親の就労が増加し、子どもを預かってもらって長時間働く状況が増えています。</p>
会長（進行）	<p>・認定こども園長のご経験もおありの、新見保育所長（委員）はいかがでしょうか。</p>
委員	<p>・今は保育所勤務なので短時間保育は行っていませんが、就労の状況は同じ様に思います。</p>
会長（進行）	<p>・母親の就労が増加している現状があるようです。</p> <p>・ほかに質疑はありませんか。→なし</p> <p>・事務局は素案の第4章以降の説明をお願いします。</p>
事務局	<p>・第2期事業計画の素案、第4章以降を説明</p>

<p>会長（進行）</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・第1章から第7章まで全ての説明が終わりました。まず、素案の構成について、第1期の検証を踏まえての構成になっているようですが、これでよいでしょうか。 ・特に意見がないようですので、構成については、これで進めていきたいと思えます。 ・また、先ほど説明のあった第4章から第7章についてでも、第1章から第3章についてでもよいのでご意見はありませんでしょうか。
<p>委員</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・素案 P8 に児童虐待受理件数の推移が掲載されていますが、受理件数だけ見るとそれほど深刻ではないように捉えられるように思います。対応件数等を載せた方が市の現状がもっとよく分かるのではないのでしょうか。
<p>事務局</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・支援の件数については、市で支援するレベルから、児童相談所まで合わせて支援するレベルを全て含めると、平成27年度が86件、28年度が78件、29年度が70件、30年度が64件となっています。一家庭の子どもが多い場合は子ども全員が支援の対象となるので、このような数字になっています。意見を参考に掲載を検討したいと思います。
<p>委員</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・P21 は基本目標2 子どもを健やかに産み、育てる環境づくりについて書いていますが、市内の出産できる施設についてどのようなニーズがあり、今後市として産むことへの支援をどうしていくのか今後検討が必要だと思います。全ての子どもが市内で産まれているわけでないので、市外で産まれる人に向けて、市としてどのような支援をしていくのかを視野に入れて検討していくべきだと思います。 ・また、P24 の基本目標5 子育て家庭が安心・安全に暮らせるまちづくりの基本施策1 の今後の主な取組の方向性について、主催者や主体的に講座を行う人等を具体的に書いた方がよいと思います。「出前講座を通じたふれあいと交流の活動の推進」とありますが、これは市の出前講座なのか、どこかの団体の出前講座を想定しているのか。また、「ふるさと学習を活用した体験学習等の推進」とありますが、これは学校主催か、それとも公民館等主催か、または全て含んだものなのか。さらに「適正な公園の維持管理」についても、どの公園を指しているのか。また「森林公園等の環境整備」とありますが、森林公園が市のどこに何か所あるのかといったことが分からないと思います。 ・また、基本施策2 について、「子どもの権利を守るために、新見市子ども条例を制定しました。」とありますが、今後の取組としてこの条例の周知や子どもの権利条約の啓発等も必要なのではないのでしょうか。 ・また、P25 についてですが、新見市は電子母子手帳に取り組んでいるので、電子母子手帳を通じての情報提供について、ここで記載してはどうでしょうか。 ・また、同基本施策2 の今後の主な取組の方向性の中に「障がいの疑いがある子どもを含めた全ての障がい児に支援が行き届く取組」とあります。全ての障がい児に支援が行き届くことは当然のことだと思いますので、もし、障がいの疑いがある子どもに向けて支援が行き届く取組、という意味合いで書かれている

	<p>のなら、例えば「障がいの疑いがある子どもを適切な支援につなげる取組」とした方が方向性が分かってよいように思います。</p>
会長（進行）	<ul style="list-style-type: none"> ・児童虐待の件については、最近重篤な事案が多いため、件数だけでは分からない面もありますが、対応件数を記載するのはよいと思います。その他の件についても事務局は検討をお願いします。 ・ほかに意見等はありませんか。 ・なければ、本日欠席されている委員から意見書をいただいているので要旨を紹介します。「市内で学童保育のニーズは高まる一方である。市内の学童保育施設において、現在の利用者の多くが継続利用を希望するので、6年生の卒業生が抜けても、新1年生の利用枠を確保できない状態にあり、現在の利用者が退所を迫られる事態になっている。就業形態の多様化で、高学年になっても親が安心して働くために学童保育に預ける必要があることから、ニーズが高まっている。施設の整備や指導員の確保等を喫緊の課題として捉えるべきである。」といった趣旨です。このことについて、まず放課後児童クラブの状況を伺いたいと思います。
委員	<ul style="list-style-type: none"> ・確かににそのような状況もあるように思います。私の子どもが通っている小学校の児童クラブは、利用している教室が手狭になってきています。子ども達は、普段は外のグラウンドと中の教室に分かれて遊んでいますが、雨の日は全員建物の中で遊ぶので、部屋がぎゅうぎゅうの状態になります。施設設備を早急にしてもらいたいと考えています。 ・新規クラブの立ち上げのことで市にお尋ねしたいことがあります。要綱では「5人以上で新規クラブを立ち上げられる」となっていますが、実際の補助金の額をみると、5人くらいの利用で運営していくのは厳しいように感じます。新規クラブを立ち上げる場合、市は特別な支援を考えているのでしょうか。 ・また、支援員の人数が少なく、休みの日に利用したい声があっても利用が難しいという現状もあるように思います。 ・また、子どもが高学年になっても、自宅に一人で居させるは不安だと感じている保護者が多く、低学年で利用した家庭は、引き続き6年生まで使いたいという希望を持っています。私のクラブの場合、高学年の子が低学年の子の面倒を見てくれています。昔のようにきょうだいが多く、上の子が下の子の面倒を見る時代ではないので、子どもにとってよい経験につながっているように感じています。
会長（進行）	<ul style="list-style-type: none"> ・実際の学童保育の状況がわかりました。 ・学童保育について、事務局はどのように考えられていますでしょうか。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・新規クラブの立ち上げについては、P15にも記載していますが、今年度塩城にこここ児童クラブが立ち上がりました。昨年度は夏季休業中のみ開所していましたが、通年で開設をしたいという申し出があり、今年度新規開設に至っています。立ち上げの際は、保護者の協力をいただき、学校教育課が窓口となり対応しています。開設の基準については、少人数でもできるだけクラブ立ち上げが可能なように、3人以上にまで下げています。

	<ul style="list-style-type: none"> ・支援員の確保ですが、年に数回、市報等で広く呼び掛けていますが、人口減少などの影響からか、支援員の確保が課題になっています。繰り返し広報したり、知り合いを紹介してもらったりするなどして、確保に努めているところです。 ・高学年の利用については、可能な限り受け入れてもらっていますが、思誠小学校区の児童クラブでは、実際に定員をオーバーしています。今年度、思誠小学校区内に新たにクラブが立ち上がったので、今はそちらを紹介・案内しています。
会長（進行）	<ul style="list-style-type: none"> ・学童関係で、ほかにご意見等はありませんか。 ・意見書の後半では、「子育てに関するアンケート調査を実施しているが、実際に学童を利用している保護者に対してアンケートを実施して、問題をさらに掘り下げる必要があるように感じる」とあります。「施設ごとに抱えている問題も様々で、状況もそれぞれ異なっているのではないか」ということだと思いますがいかがでしょうか。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・学童保育では連絡協議会を設けていて、先週も市の担当者が出席して話を聞きました。そこでは様々な意見がでましたので、内容について課内で協議をしているところです。 ・実際の利用者の生の声を聞くことが一番だと思っています。
会長（進行）	<ul style="list-style-type: none"> ・ありがとうございました。 ・他にご意見等はありませんか。 ・幼児クラブの現状はいかがでしょうか。
委員	<ul style="list-style-type: none"> ・働いている保護者が増えたので、子育て広場に行く人が少なくなってきています。そのため、幼児クラブも会員になっても、活動への参加につながらないといった現状があります。また、小さな子どもの保護者は遠慮して参加に至らないといったケースもあります。幅広く周知して、幼児クラブの活動を盛り上げていけたらという話が出ています。
会長（進行）	<ul style="list-style-type: none"> ・幼児クラブの現状と活動を充実させる方向で取り組んでいるということが分かりました。 ・阿哲商工会会長（委員）はどのような意見をお持ちでしょうか。
委員	<ul style="list-style-type: none"> ・短時間保育から長時間保育、教育より保育の需用が高まっているという傾向がある中、計画の素案では6つの基本目標が挙げられています。素案では施策によって「実施します」「図ります」「推進します」「支援します」とそれぞれ記載していますが、実際に充実させるには保育に携わる人の確保の強化が必須であると思います。放課後児童クラブを新しく立ち上げてくれるのはありがたいが、代表者は支援をする人の確保に大変苦勞しています。また、人数が増えた場合の会計なども並々ならぬ努力が必要だと思います。市が施策を行う上で、そういった点に重点を置いたらどうかと思います。

<p>会長（進行）</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・貴重な意見をいただきました。 ・基本目標の4「生きる力を育む学びの場づくり」の中に、学校教育の充実等を挙げていますが、教育部長（委員）にも意見を伺いたいと思います。
<p>委員</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・色々な施策を進めていく中で、例えば放課後児童クラブの会計事務に手がかかる、負担になっているという意見を聞きました。そこで今年の9月に、一部分だが事務委託をできるよう予算措置をして、11月から事務委託を行っているところです。制度をそのまま継続するのではなく、改善できるものは改善しながら、利用してもらえよう努力をしているところです。 ・また、施策にはたくさんのメニューがあります。既にあるメニューも充実していると考えているので、これからは内容を増やすだけでなく、現在のメニューの周知に力を入れ、多くの方に有効に利用してもらえよう形を作ることも大事だと考えています。
<p>会長（進行）</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・今回のキーワードにもなる、「今ある事業の周知徹底、啓発」を強調していただきました。 ・計画のことに限らず、その他で意見があれば伺いたいがいかがでしょうか。
<p>委員</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・P30に「放課後子ども教室の充実が必要です。」とあります。公民館に子どもの居場所を作ろうということから始まった事業ですが、学区が広がったこともあり、居場所になり得ていないのが現状だと思います。充実が必要であるとは思いますが、長期休業中のイベント的なことにとどまり、居場所までいっていない様に思うので、今後の課題だと感じています。 ・P33のグラフ下の文章について。1～2行目の文章を入れ替え、「小学生の保護者において、経済的なゆとりがない層では、子どものために用意できていない・・・」としてはどうでしょうか。 ・さらにその下にある、矢印下の文章の2つ目は、具体的にどういうことを指しているのでしょうか。子ども食堂や無料の塾のようなものを想定しているのか。経済的な理由で困っている人を支援につなぐ取組は、具体的に書かないといけないと思いました。大変難しい取組です。 ・P54基本目標4「生きる力を育む学びの場づくり」に、新たな取組として「幼児期の木育の推進」を載せています。新見市ではその他にもブックスタートを長く実施しており、この度セカンドブック事業も始めている。さらにボランティアによる読書活動なども行っているのだから、今後取り組みでいくのなら、これらの読書活動の推進にも触れてはどうでしょうか。 ・P61に「総合型地域スポーツクラブとの連携」があります。人数が減ったとはいえ、市内ではスポーツ少年団の活動が盛んに行われています。地域全体で子どもを支える環境づくりの中に、スポーツ少年団の活動も入れてはどうでしょうか。 ・また、新見市まち・ひと・しごと創生総合戦略に「塩から子の育成」があり、市全体で活動したり、学区で活動したりと市全域で行っているが、この計画では一言も触れられていない。今後取り組むのであれば、計画のどこかに塩から子についての考え方を盛り込んでもよいのではないかと考えます。

<p>会長（進行）</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・P30 では居場所をどう作るかについて、また、P33 では文章の代替案を示してくださいました。また、地域福祉の視点に立ったときに、具体的な表記が必要であるという貴重な意見もいただきました。 ・さらに読書活動の推進への取組、スポーツ少年団の活動に関する記載についてもありました。また塩から子育成事業については、正に「生きる力」を育むという点では新見市の核になっている事業なので明記できればとのことでした。 ・ほかに意見等はありませんか。→なし ・今回皆様からいただいた貴重な意見について、事務局で十分検討して、計画策定を進めてもらいたいと思います。 <p>■議事② その他</p> <ul style="list-style-type: none"> ・なにか意見等はありませんか。→なし ・全体を通して、福祉部長（委員）に意見を伺いたいと思います。
<p>委員</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・様々な意見をいただき感謝します。前回の第1期計画は初めての策定だったので、アンケート調査をもとに、出てきた課題に向けてどうするかという構成となっていました。今回はアンケート調査を行う一方で、第1期計画の評価・検証を行っているので、前回より分かりづらくなったところもある様に思います。 ・色々と具体的な提案をいただきましたが、評価・検証やニーズ調査から出てきたものであっても、具体的に示せるものと示せないものがあり、計画に全てを盛り込むのは難しいと感じています。 ・また、現在策定している総合振興計画との整合が必要なので、全て網羅できていない面があります。今後、総合振興計画との調整、整合が必要な部分もあるかと思います。入れるべきものを入れ、よりよい計画になるよう努めたいと思いますので、気付いたことがあれば事務局に連絡くださいますようお願いいたします。
<p>会長（進行）</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・全体をまとめてくださったように思います。 ・他になにもなければ、これで議事を終了いたします。
<p>事務局</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・様々なご意見をありがとうございました。今回出された意見を踏まえて、再度検討し、計画策定を進めて参りたいと思います。 ・今後の予定を説明。 <p>→修正後の素案を委員の皆様を確認をいただいた後、パブリックコメントを実施し、市民の方からの意見を募集する。本会議は、策定の進捗状況により必要に応じて開催する。</p> <p>■ 4 閉会</p> <ul style="list-style-type: none"> ・副会長挨拶 ・以上をもちまして、令和元年度第2回新見市子ども・子育て会議を終了いたします。